

学校教育目標	・すすんで学ぶ生徒 ・心の豊かな生徒 ・健康でたくましい生徒				目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像
前年度までの本校の現状	成果	・人権尊重教育を基盤とした魅力ある教育活動の実践（SDGs、ユニバーサルデザイン） ・運動会、文化祭等規模を縮小せず、生徒・保護者のニーズに応えた学校行事の完全実施 ・授業改善の継続、補習・自習教室、家庭学習の推進等による基礎学力の定着の成果が微現 ・本校入学を選択する生徒数の増加（昨年度新入生は146人に、予想数より大幅増加。昨年度転入生約10人は安定して通学している）			課題 ・家庭学習の充実 ・授業力の向上 ・不登校の減少

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「学校関係者」評価	
				9月	2月	評価	コメント	評価	
学力の向上	＜学力の向上＞ ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に對しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善・・・目標の提示、学習活動の明確化（グループ活動の工夫）、振り返りの定着、ICT・タブレットの効果的活用 ・補習・自習教室の機会拡充、適切な課題提示、学習状況の把握と評価	・全国学力・学習状況調査の数値を上回る（昨年度、都平均より国語-7 数学-4、一昨年度より上昇） ・生徒・保護者アンケートの「学習指導・授業工夫」の項目、高評価93%以上（昨年度91%一昨年度76%）						
	＜読書科の更なる充実＞ ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・宿泊行事・校外学習の事前事後学習で、探究学習成果物の完成・レベルアップ。 ・全校生徒へも呼びかけ、自主的な探究活動の増加。 ・よむよむワークシートの有効活用	・全生徒の読書科の探究活動成果物、完成 文化祭等で公開 ・「コンクール」の出品促進 ・生徒アンケートの「情報収集・発表力向上」の高評価90%以上（昨年度88%、一昨年度83%） ・学校公開等での作品展示の保護者高評価92%以上（昨年度90%）						
	＜英語力の向上＞	・英語授業において、会話を伸ばす取組の継続・推進	・生徒アンケート「英語」の授業意欲・学力向上90%以上 ・躊躇なく英語で会話できる環境の醸成						
体力の向上	＜運動意欲や基礎体力の向上＞	・生活習慣改善の呼びかけと生活リズム・自己管理の定着 ・保健体育授業時の補強運動の継続 ・ゲストティーチャーや講演、掲示物により、スポーツに親しむ心の育成	・感冒・感染による学校・学年閉鎖なしの継続（昨年度学級閉鎖1回） ・体力テスト評価、区平均・都平均を上回る ・生徒・保護者アンケートの「基本的生活習慣」の項目高評価95%以上（昨年度93%） 「生活リズム」の項目高評価8%以上（昨年度73%）						
実現に 向けた 教育の推進	＜特別支援教育の推進＞ ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・支援委員会で特性理解をベースに、具体的な支援策の共有 ・関係諸機関との緊密な連携（特にヤングケアラー、ネグレクト系） ・生徒、保護者のニーズに合わせた活用促進（オンライン授業、個別学習等）	・支援を要する生徒が、安心して通常の学校生活を送る（行動観察） ・生徒・保護者アンケートの「学校生活充実」の項目高評価95%以上（昨年度93%、一昨年度89%） ・保護者アンケートの「不登校、特別支援への指導」の項目高評価80%以上（昨年度62%）						
	＜防災教育の一層の推進＞	・万事に対応できる避難訓練の実施 ・地域と連携した地震・水害時避難場所としての体制確保	・災害時の迅速な避難所開設実施 ・教職員の防災対策意識向上（年度末調査で9割以上）						
不登校・いじめ対応の充実	＜子どもたちの健全育成に向けた取組＞ ・不登校生徒への対策の充実	・欠席増加（連続3日を目安）による初期対応と適切な支援、関係機関との連携 ・ステップアップルーム、エンカレッジサポーターの有効活用 ・長期休業明けのケアを特に丁寧にしていく	・不登校生徒の減少（目標15以下、昨年度末30） ・どこにもつながらない生徒をゼロに（支援委員会で随時確認）						
	・いじめ案件の対応（“迅速・丁寧・共有”を合言葉に初動に重点を置く） ・教育相談の強化 ・Hyper-QUの活用	・個別面談、SC面談等の情報共有 ・L-Gateによる日々の生徒の心身状態の把握と助言 ・HyperQUの分析による要支援・不満足群への支援	・いじめ案件を限りなくゼロに近づける ・L-Gateの生徒自身の有効活用度9割以上 ・HyperQUの要支援・不満足群の改善（昨年度は全クラスとも改善） ・保護者アンケートの「いじめ指導、問題行動解決」の項目高評価85%以上(昨年度79%)						
学校（園）の 地域社会に 開かれた 実現	＜自校（園）の取組の積極的な発信＞ ・学校（園）ホームページの充実等 ・学校（園）公開の実施・充実	・ほぼ毎日更新をめざし、適切な情報公開の実施 ・土曜授業・学校公開の年3回実施 ・保護者会等の欠席者への適切な情報提供	・保護者アンケートの「情報発信」の項目高評価98%以上(昨年度97%、一昨年度95%) ・学校公開時の保護者アンケート、高評価90%以上(昨年度85%)						
	＜学校関係者評価の充実＞ ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学期ごとの生徒・保護者アンケートの実施 ・PTA役員会、学校評議員会による意見聴取	・生徒・保護者アンケートの「教育活動改善」の項目高評価90%以上（昨年度84%） ・本校への肯定的な意見、9割以上(昨年度、批判的な意見はほぼなし)						
教育の 特色ある 展開	＜令和3・4年度 都人権尊重教育推進校の成果を継続発展＞	・共生社会の考えを基盤にした、差別や偏見のない環境づくり（校内環境整備、講演会、道徳授業等）	・生徒・保護者アンケートの「人権教育推進」の項目高評価90%以上(昨年度生徒88% 保護者82%)						
	＜教員研修のさらなる工夫と実施＞	・OJTグループと研修グループを融合し、教員同士の力量の向上 ・個別テーマの研修の充実	・年度末の面接、校内研修で成果を報告、教員自己高評価8割以上、持続可能な研修への更なる助言						
	＜働き方改革の一層の推進＞	・定時退勤日の告知・呼びかけ ・部活動時間の改変（昨年度より年間通じ18時最終下校）→生徒生活リズムの安定	・時間外80h越え産業医面談を年間を通じゼロに（昨年度2人、一昨年度のべ5人） ・ストレスチェックの数値をより一層低く（2年間区区内上位）						

